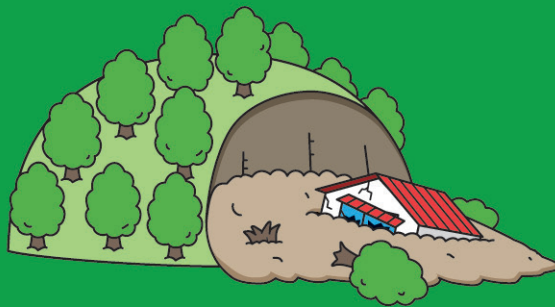


政府からのお知らせ

台風や長雨の際は、
**土砂災害に
注意してください**



- 東日本大震災により、地盤が弱くなり、土砂災害が
おこりやすくなっています。
- 台風、長雨による土砂災害の被害を受けないようしっかり備えましょう。

チェック

土砂災害に備えて家庭や地域でできること

- ▶ 住んでいる場所が土砂災害危険箇所かどうか確認する。
- ▶ 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する。
- ▶ 土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する。

土砂崩れの恐れのある場所や避難場所について事前に確認しましょう。

土砂災害から身をまもるために

土砂災害は、予測の難しい災害ですが、発生する場所や時間はある程度特定することが出来ます。ここでは、土砂災害から身をまもるために最低限知っておくべき3つのことについてお知らせします。

▶ 住んでいる場所が、土砂災害危険箇所かどうか確認する ……………

土砂災害発生のおそれのある地区を「土砂災害危険箇所」としています*。
自分の家が土砂災害危険箇所にあるかどうかは、市町村役場にお問い合わせください。

*ただし、土砂災害危険箇所でなくても、付近に「がけ地」や「小さな沢」などがあれば注意してください。

▶ 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する ……………

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されています。雨が降り出したら、土砂災害警戒情報に注意しましょう。土砂災害警戒情報は、気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>) や各都道府県の砂防課などのホームページで確認できます。

宮城県 (http://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp/midski/mail/DoshaMail_pc.htm)

岩手県 (<http://www.jma-net.go.jp/morioka/jichimail.htm>)

においては、携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を教えてくれるサービスもありますのでご活用ください。

▶ 土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する ……………

がけ下や溪流沿いなどに住んでいる方は、土砂災害警戒情報が出たら早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。

また、土砂災害の多くは木造一階で被災しています。豪雨などでどうしても避難所への避難が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家の中でより安全な場所(例えば、がけから離れた部屋や二階)に避難しましょう。